

中央ろうきん 友の会ニュース

2013年度東日本大震災義援金贈呈式
宮城県南三陸町被災地視察研修 報告

【編集】中央ろうきん友の会事務局
【発行人】鈴木政雄
【発行】2014年6月2日

友の会の善意が被災者に届けられました！



2013年度の東日本大震災被災者支援義援金は宮城県南三陸町の被災者が暮らす同町や登米市にある七つの自治会へ義援金計170万円、2012年度の義援金贈呈先であり、いまだに復興途上にある宮城県石巻市鮎川浜自治会へ第2次義援金として50万円を贈呈いたしました。

「息の長い支援活動が必要であると再認識した贈呈式」

2014年4月22日(火)、登米市南方町のイオン南方店跡地仮設住宅集会所(イオン南方仮設住宅は第1期・第2期合わせて350世帯が暮らす南三陸町最大の仮設住宅)において、義援金贈呈式を行いました。

贈呈式には、七自治会から16名の役員の方々と中央ろうきん友の会本部役員11名が出席しました。
はじめに、友の会野嶋幸光事

務局長より、中央ろうきん友の会の東日本大震災被災者支援の取組み経過を報告。続いて、友の会鈴木政雄会長より「仮設住宅で不自由な生活を送る皆さんが少しでも元気になるよう、義援金を役立ててほしい」と挨拶した後、七自治会を代表し、同仮設住宅第一期自治会会長である宮川安正さんに義援金目録を贈呈いたしました。

宮川会長からは、「被災地に目を向けてもらいありがたい。仮設住宅で暮らす皆が元気に集まれるよう、自治会行事に義援金を使いたい」と謝辞が述べられました。

その後、昼食をとりながらの交流会では、3年が経過した仮設住宅での避難生活の現状(仮設住宅は2年を目前に建設されているため、あちらこちら傷んできていること、孤立者を出さないためのご苦労や今後への不安が増していることなど)や高台移転、復興住宅の遅れなどについて自治会役員の方々に話を伺いました。このたびの贈呈式を通じて、友の会としても息の長い活動で、被災者の方々に支えていくことの必要性を再認識することができました。

なお、贈呈式の模様は地元の新聞社である「河北新報」で4月26日に報道されました。



贈呈式には7自治会より、16名の役員の方々が出席し、昼食をとりながら友の会役員と懇談した。



友の会を代表してあいさつする鈴木会長



鈴木会長より仮設住宅7自治会を代表して、義援金目録を受け取る宮川南方第一期仮設自治会会長



7自治会を代表してお礼のあいさつをする宮川会長

2013年度の東日本大震災被災者支援義援金を、
南三陸町仮設住宅7自治会、石巻市鮎川浜自治会に贈呈いたしました！

中央ろうきん友の会は、東日本大震災被災者支援活動として、2011年度より、義援金の取り組みを実施してまいりました。2013年度は、支部、地区本部から1,345,655円にもものぼる義援金を集約することができました。あらためて関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

未曾有の震災から3年が経過しましたが、いまだ復興が進まず、先の見通しがたないまま、困難な生活を強いられている被災者の方が多くおいでになります。友の会では息の長い活動で、被災者を支えていくことを確認しておりますので、会員の皆さまには引き続き義援金の第三次募集へのご協力をお願いいたします。

南三陸町を訪問して

五十鈴神社から防災庁舎

4月21日（月）、13時4分、東北新幹線くりこま高原駅に降り立った私たちは、2台のレンタカーで、満開の桜のなかを最初の視察先である、南三陸町「五十鈴神社」に向かいました。

「地震があったら、

この地よりも高い所に逃げる」と

この言葉は、「五十鈴神社」の中腹にある「未来の人々へ」と題する記念碑に書かれています。「五十鈴神社」は戸倉地



南三陸町「五十鈴神社」にて須藤氏を囲んで



南三陸町役場で挨拶する鈴木会長



津波の高さを伝える南三陸町防災対策庁舎



南三陸「ばっばの会」の皆さんは毎週2回集会所に集まり、「つるしびなストラップ」を作っています



いました。

「南三陸町は復興します」

仮設住宅入居者の現在の課題として、①長期化による不安・ストレスの拡大防止②孤立と「取り残され感」から入居者をどう守るか③住宅のハード面のメンテナンス問題（仮設入居は2年間程度を想定しているため、住宅の傷みが進んでいる）などを挙げて説明。

また、町の現状と課題では、①国や県による継続的な財政支援②急激な人口減少への対応③公共交通機関の復旧④復旧、復興事業に要する人的支援の必要性を挙げて話された後、困難な課題は多くあるが、これらを克服し、南三陸町は復興しますと力強く講和を締めくくっていただきました。

4月22日（火）、ホテルを8時に出発し、横山第1期・2期仮設住宅を視察。ここは、友の会本部がストラップの購入で自立支援を応援している南三陸「ばっばの会」の皆さんがいる仮設住宅。火曜日は作業日と重なったことから、会の皆さんと交流が実現しました。

中央ろうきん友の会ニュース

本ニュースに関するお問い合わせについては、右記にある中央ろうきん友の会事務局までお問い合わせください。なお、このニュースは、会員向けのニュースとなっておりますので、地区本部や支部の会議やイベント時にご活用ください。

【編集】中央ろうきん友の会事務局

【発行人】鈴木政雄

【問合先】三鷹市下連雀4-15-30

TEL 0422-79-0220